



発行日：平成29年11月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会事務局

### ◆第43回川部会WGを開催しました！

10月27日（金）に第43回川部会WGが開催されました。今回のWGでは、加茂川水門の堰上げ式魚道（平成28年度設置）、矢作川本川で行われている河道掘削箇所（竹林伐採箇所）、豊田市の“矢作川水辺まちづくり計画”のうち国との連携範囲（コアエリア）を視察し、意見交換を行いました。

日時：平成29年10月27日（金）13:30～16:30  
会議場所：豊田市職員会館  
参加者：18名（事務局含む）



### ◆主な活動内容

#### 1.国土交通省の川づくりを見学しました。



##### 《加茂川水門 堰上げ式魚道》

- 水門の下流に石積みの堰上げ式魚道を設置し、水門下流側の水深を上げることで、水門段差部の下流水面の水面落差を引き下げるものです。それにより、段差箇所においても魚の移動が可能となります。
  - 石積みにあたっては、巨石を根石として配置するなど、流出しづらい工夫をします。
  - 落差工間の流れを蛇行させることにより、流れの勢いを抑えています。
  - 地元の高校生と協働して魚道設置（改良）を行います。
  - 魚道上流のみならず、ブラックバスやブルーギルなどの外来種がみられました。参加者からは、魚類の種ごとの確認状況の推移を把握した方が良いという意見が挙がりました。
- ##### 《久澄橋下流の河道掘削・樹木伐採》
- 久澄橋下流では平成27年度以降、河道掘削を行っています。



工事箇所位置図（加茂川水門下流および矢作川右岸工事）



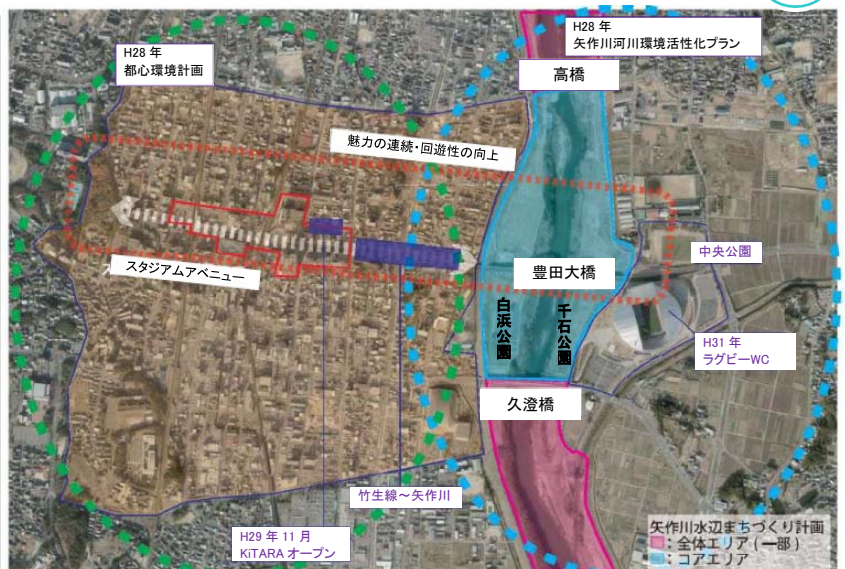
加茂川水門下流の堰上げ式魚道の形状



#### 2.豊田市の“矢作川水辺まちづくり計画”に関して、国との連携範囲（コアエリア）を見学しました。



- 矢作川水辺まちづくり計画は、まちとかわが連携することで、豊田市中心部のさまざまな課題に対して解決を図ることが目的です。
- 具体的には、駅前の再開発ビル（KiTARA）のオープンに合わせ、街と河川敷が連携して賑わいを創出することが挙げられます。
- 矢作川水辺まちづくり計画の策定範囲については、籠川合流点から鵜の首橋下流付近ですが、まずは2019ラグビーのワールドカップに向けて高橋から久澄橋区間をコアエリアとして利活用をめざします。
- コアエリアの利活用については、右岸の白浜公園側は都心に隣接しているため、日常の利用を目的としています。また、左岸の千石公園側については、イベント等への利用を目的としています。
- 11月の協議会において、より具体的な整備内容が決定される予定です。



矢作川水辺まちづくり計画（まちとかわの連携）図



●出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(・意見 ▶回答)

《加茂川水門 堰上げ式魚道について》

- ・石の積み方については、日本大学の安田教授の技術（小わざ魚道）を取り入れてはどうか。（本守）
- ・上流側のたまりには、ブラックバスとブルーギルが多くみられる。ここで生け捕りにできれば効率が良い。（高橋）

《久澄橋下流の河道掘削・樹木伐採について》

- ・右岸下流側（瑞穂地区）に残された竹林は平成30年以降に伐採・掘削するという認識で良いか。（本守）
  - ▶ この竹林は、現在トヨタ自動車のボランティアが伐採を続けている。伐採後の平成30年度以降に掘削等を行う予定だ。また、同箇所には「お社」があるため、移設等の調整を行っている。（豊田市）
- ・治水上、長興寺と同様に意味のある社（水神など）だと思うので、是非とも由来を調べてほしい。（内田）
  - ▶ 対岸に牛寺廃寺（牛寺遺跡）があり、埋蔵文化財調査を行う予定だ。社の由来を含めて報告したい。（国土交通省）
- ・シバの護岸は止めて、ヤナギ等の水の中に浸水する植物を定着させてほしい。あるいは、水際に凹凸をつけることで、砂が溜まる構造にしていきたい。（本守）
  - ▶ 水際は平場を最低4mとり、水際線は現況の凹凸を残すよう設計している。（国土交通省）

《豊田市の“矢作川水辺まちづくり計画”に関して》

- ・矢作川感謝祭の時に思ったのだが、堤防付近にトイレを設置することはできないか。（高橋）
  - ▶ 河川敷には固定式の立派なものはできないが、もう少し機能的な簡易トイレの設置を検討したい。（豊田市）
- ・計画の上で空いている土地については、河川管理規則に合致する範囲で、多くの木を植えて欲しい。（本守）
  - ▶ 夏場は非常に暑いので、人が集まりやすい環境を検討したい。（豊田市）
- ・国が整備する部分と豊田市が整備する部分がかかなり具体的に分けられていて、水際の河畔林の再生とか水際の環境改善は国がすることになっているが、これらについての具体的な計画は決まっているか。（内田）
  - ▶ かわまちづくりに関しては、イベントを中心とした空間の活用と水防災の観点で市民参加型のワークショップの開催をめざしている。国は主に基盤整備（駐車場・階段など）を支援することになっている。（国土交通省）
- ・高齢者や子どもにとってコンクリートの階段は負担が大きい。スロープ等の設置を検討してほしい。（松井）
  - ▶ 段差がないような堤防にしたいと考えている。特に、右岸側は街と河川敷の連携をめざしているので、バリアフリーの空間づくりを行いたい。（国土交通省）
- ・高橋の下流側には入り江があるが、藪が繁茂して入りにくいので整備をお願いしたい。（内田）
- ・久澄橋付近の中州と高橋下流の寄州に繁茂する草や灌木については、伐採などの対応はしないのか。（野田）
  - ▶ 今のところ伐採等の予定はない。（豊田市）

《今後の川部会 WG について》

- ・次回のWGでは、阿摺ダム下流のソジバの環境保全(アユ)の現地視察および研究成果の報告をお願いしたい。（本守）
- ・川の地域部会の日程については、次回のWGの中で決定したい。（内田）

●振り返り

**よかったと思うこと**：水門下流側の落差が小さくなっていたので、アユが上りやすくなったと思われる。／比較的丁寧な説明であった。／現地で丁寧な説明を受けたため、議論が活発になったと感じる。

**今後取り組んでいきたい活動・要望など**：加茂川の観察で確認されたブラックバスの群れ、ブルーギル、ミシシippアカミミガメについて、外来種対策として関係機関にて対応していただきたい。



今後の流域圏懇談会の予定

■第44回川部会 WG

※詳細はMLにてご案内します。

日時：平成29年11月28日（火） 13:30~16:30

内容：〈本川モデル〉阿摺ダム下流で実施しているアユの生息環境改善のための実験場所の視察など



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 松山、事務副所長 山木  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100 調査係長 服部

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@iijnet.or.jp) までお送りください。

